

人口動態について

(1) 人口ビジョン概要

人口ビジョン概要

人口推計及び人口動向を考慮し、今後本町が目指すべき将来の人口目標を、国や県の推計を勘案し以下のとおりとします。

人口目標 ▶ **令和42（2060）年 4,800人**

目標達成に向けた取り組み

① 社人研推計値 ▶ 人口 令和42（2060）年：3,128人

② 合計特殊出生率の上昇 目標値：令和 2（2020）年：1.95 R2国勢調査…1.67
 令和 7（2025）年：2.03
 令和12（2030）年：2.10 ※以降一定
 人口：令和42（2060）年：3,337人

③ 移動（純移動率）ゼロ（均衡）をめざして！
 目標値 令和12（2030）年までに45歳未満（15～24歳を除く）の社会増減の差をゼロする。
 ※以降同条件
 U I Jターン施策，居住する住民が健康で豊かに暮らせる施策 などの実施により
 人口：（2060）年：4,866人+（社会経済動向の変化等による転入超過の誤差を想定）→ **4,800人**

(2) 人口推移

2015年国勢調査 9,217人	第2期総合戦略						単位：人	
	令和2年 (2020年)	令和3年 (2021年)	令和4年 (2022年)	令和5年 (2023年)	令和6年 (2024年)	令和7年 (2025年)	令和12年 (2030年)	令和42年 (2060年)
	国勢調査					国勢調査		
社人研推計①	8,234	8,050	7,865	7,680	7,495	7,307	6,506	3,128
町人口ビジョン②	8,407	8,259	8,111	7,963	7,815	7,667	7,055	4,800
住民基本台帳③	8,740	8,564	8,334	8,070	7,859	-	-	-
国勢調査補正		▲500	▲500	▲500	▲500			
国勢調査水準推計④	8,250	8,064	7,834	7,570	7,359			
②-④	▲157	▲195	▲277	▲393	▲456			

※現行人口ビジョンは、2015年国勢調査をもとに推計を行っている。2020年国勢調査の確定値：8,250人

※国勢調査補正 2015調査9,217人、住民基本台帳9,820人 差603人

2020調査8,250人、住民基本台帳8,740人 差490人

※人口ビジョンのシミュレーション条件 …合計特殊出生率2.1、転入転出の差0人

※社人研 …国立社会保障・人口問題研究所

※基準日 10月1日

第2期における人口推計は、令和42年度に4,800人と設定している。

令和5(2023)年の国勢調査補正後の推計人口は7,570人に対し、町人口ビジョンは、7,963人であり、目標人口に対し▲393人で推移している。

引き続き、継続した対策を行っていく必要がある。

(3) 人口動態（住民基本台帳による）

	年度	転入	出生	転出	死亡	社会増減人口	増減人口
	H17	243	62	332	197	△ 89	△ 224
	H18	245	51	377	201	△ 132	△ 282
	H19	198	55	303	222	△ 105	△ 272
	H20	203	53	342	201	△ 139	△ 287
	H21	229	59	271	218	△ 42	△ 201
	H22	208	52	259	216	△ 51	△ 215
	H23	233	45	287	211	△ 54	△ 220
	H24	278	53	372	210	△ 94	△ 251
	H25	261	45	330	221	△ 69	△ 245
	H26	239	41	346	224	△ 107	△ 290
第1期	H27	244	43	286	218	△ 42	△ 217
	H28	233	36	268	236	△ 35	△ 235
	H29	253	35	261	206	△ 8	△ 179
	H30	235	31	292	211	△ 57	△ 237
	H31	213	34	278	177	△ 65	△ 208
第2期	R2	224	30	261	184	△ 37	△ 191
	R3	191	25	272	175	△ 81	△ 231
	R4	218	31	280	222	△ 62	△ 253
	R5	219	19	243	199	△ 24	△ 204
H17～R4 平均値		230	42	298	208	△ 68	△ 234
H17～H26 平均値		234	52	322	212	△ 88	△ 249
第1期	平均値	236	36	277	210	△ 41	△ 215
第2期	平均値	213	26	264	195	△ 51	△ 220

令和5年度の増減人口は、▲204人（前年▲253人）、転入者と転出者の差である「社会増減」は▲24人（前年▲62人）と依然厳しい状況が続いている。

(4) 人口移動意識調査

住民窓口で行っている転入者、転出者双方のアンケート結果をまとめたところ、令和5年度に転入者が本町に住むにあたり魅力を感じる場所は、

第1位「農地が確保できること」

第2位「住宅が確保できること」

第3位「地域のコミュニティ活動が盛んなこと」

であった。

「農地が確保できること」「住宅が確保できることは、例年上位に位置している。

一方、転出者が他の町に魅力を感じる場所については、

第1位「買い物が便利なこと」

第2位「公共交通の利便性がよいこと」

第3位「その他(婚姻,介護等)」

と続き、例年ほぼ同様の結果となっている。

買い物、公共交通など、いずれも本町の大きな課題である。

【R5年度】 転入者が「本町に」住むにあたり魅力を感じるころ (単位:件)

調査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	順位
1 子育て支援が充実していること				1	2		1		1	3	1		9	5
2 教育が充実していること					1							1	2	
3 医療が充実していること			1	1					2				4	
4 高齢者福祉施設が充実していること	1	1	1				1	1	2	1			10	4
5 買物が便利なこと			1								1	1	3	
6 雇用の場があること	2	1								1		4	8	
7 住宅が確保できること	2	1			1	1	1	1	1	2	2	2	14	2
8 農地が確保できること	3	3		1				2	2	1	1	2	15	1
9 地域のコミュニティ活動が盛んなこと	3			1	1	2			1		2	2	12	3
10 公共交通の利便性がよいこと													0	
11 情報基盤が充実していること												1	1	
12 町の支援施策があること	2								1	1	1	2	7	
13 転入出の相談に乗ってくれる窓口があること	1			1	2			1			1	3	9	5
14 空き家バンク制度が充実していること	1				2	1			1				5	
15 その他(自然が豊か、美味しい食材、人など)	1	1	1			1	3					1	8	
16 回答無し			2						1			1	5	
合計	16	8	6	5	9	5	6	5	12	9	9	22		

転出者が「他の町に」魅力を感じるころ

調査項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	順位
1 子育て支援が充実していること	1											2	3	
2 教育が充実していること				1	2					1		1	5	
3 医療が充実していること	1		1			1	1				1	2	7	
4 高齢者福祉施設が充実していること	1		3	2	1		2			1		1	11	5
5 買物が便利なこと	3	4	6	2	5	4	5	5	3	3	3	19	62	1
6 雇用の場があること	1	1		1		1		1	1		1	6	13	4
7 住宅が確保できること(子との同居含む)	1			1	1	1		2					6	
8 農地が確保できること	1									2		1	4	
9 地域のコミュニティ活動が盛んなこと				1					1	1	1	1	5	
10 公共交通の利便性がよいこと	3	2			3	2		1	2	2	1	7	23	2
11 情報基盤が充実していること													0	
12 町の支援施策があること												1	1	
13 転入出の相談に乗ってくれる窓口があること	1												1	
14 空き家バンク制度が充実していること									1	1		1	3	
15 その他(婚姻,介護等)	6	1	2	1	1	1	2			1	1	1	17	3
16 回答無し									1			2	3	
合計	19	8	12	9	13	10	10	9	9	10	10	45		